

幸町中の概要

- 本校は昭和60年4月1日に開校し、創立38年目を迎えました（開校記念日は4月17日）。
- 本校は、仙台駅より北東約2kmに位置し、アパートやマンションが林立している住宅地の中にあります。現在工場跡地に商業施設が続々と建設されるなど、大きく環境が変化してきています。反面、学区北部の丘陵地帯には「ほたるの里」や与兵衛沼などの自然が残されています。また、宮城野区と青葉区の両方にまたがり、40を超える町内会が組織されています。学区内には、幸町小、幸町南小、小松島小、杣江小があります（JR仙山線 東照宮駅下車 徒歩10分）。



校章の由来

○本校の校章は、幸町中学校の「幸」の字をデザイン化しており、地域連携と生徒の協力、団結、そして希望を表現しています。

生徒数・学級数

学級数及び生徒数				
1年4クラス (132名)	2年4クラス (126名)	3年4クラス (137名)	特別支援学級 2クラス(10名)	在籍生徒数 (405名)
職員数 43名				

部活動

陸上競技・野球・サッカー・ソフトボール・
ソフトテニス・バスケットボール・女子バドミントン
女子バレーボール・剣道・卓球・水泳・
吹奏楽・美術文芸・ボランティア

校訓碑

本校では、創立以来「三つの心」からなる校訓を日常生活で具現化すべく教育活動を行ってきました。その内容は「感謝の心」「思いやりの心」「我慢の心」からなるもので、校訓の実現をとおして学校教育目標の実現を目指しています。

校訓は「石碑」となっており、正門の東側に設置されています。今年度、405名の生徒は、校内の教育活動をはじめ地域とのかかわりの中で「校訓を胸に刻んだ幸中生」として落ち着いた学校生活を送っています。



幸中園



地域の阿部正治様から昭和61年に提供された学校園「幸中園」が、敷地北側に隣接しています。畑の面積は約660㎡と66校の市立中学校の中で屈指の広さを誇っています。

例年、授業や委員会活動で作物の栽培と収穫に春から秋まで取り組んでいます。毎年10月には保護者の皆様や阿部様もお招きして「収穫祭」を実施し、「感謝の心」が育った生徒の笑顔が見られます。

教職員一覧

(2022.4.1.現在) ※複写・複製を禁じます

校長		教頭		主幹教諭	
分 掌	1 学 年	2 学 年	3 学 年		
学年主任	英語	国語	国語		
副 主 任	国語	数学	数学		
学級担任	1	国語	保体	家庭	
	2	数学	音楽	技術	
	3	理科	社会	美術	
	4	保体	数学	社会	
副 担 任	英語	理科	理科		
副 担 任	社会	英語	英語		
副 担 任	英語		保体		
A 組	社会	社会			
B 組			数学		
生徒指導主事・いじめ対策専任教諭		養護教諭・保健主事			
事務（臨時職員）		拠点校指導教員			
技 師		図書事務			
嘱託技師		図書事務			
スクールカウンセラー		給食パート			
さわやか相談員		給食パート			
A L T		代替給食パート			

- 研究主任
- 不登校支援コーディネーター
- ステーション担任
- 防災主任

- 進路指導主事
- 道德教育推進教師
- 管理主任

主 な 行 事

4月 対面式

在校生が新入生を歓迎し、
中学校生活について紹介を行います。



9月 幸中フェスティバル (文化発表会)

文化部の活動の成果を発表します。



10月 幸中フェスティバル (体育祭)

学級が一丸となって競技に取り組みます。
仲間との絆が深まる行事です。



2月 予餞会

1,2年生が心を込めて、
3年生を送る会を開きます。



Information of SAIWAICHO Junior High School



校 歌

作詞 扇畑 忠雄
作曲 海鋒 義美

仙台市立幸町中学校 学校要覧

学校教育目標

自ら考え、共に学び、
創造性豊かで、自他を
尊重する
健全な生徒の育成



〒983-0836 仙台市宮城野区幸町1丁目15番1号

TEL (022) 275-3662

FAX (022) 301-9648

URL <http://www.sendai-c.ed.jp/~ko-chu33/>

E-mail ko-chu33@sendai-c.ed.jp

校 長 大 平 和 典

【学校教育目標の具現化・学校経営方針】

自ら考え、共に学び、創造性豊かで、自他を尊重する健全な生徒の育成

「創造」と「貢献」 自尊感情（自己肯定感＋自己有用感）を基盤に「ダイバーシティ＆インクルージョン」

自ら考える生徒

「創造」する生徒

「我慢の心」

あきらめず、安心安全から自分で考え始める

共に学ぶ生徒

「貢献」する生徒

「感謝の心」

ありがとうと仲間に感謝しながら学び始める

創造性豊かな生徒

「創造」する生徒

「我慢の心」

あきらめず、考え続けることから創り始める

自他を尊重する生徒

「貢献」する生徒

「思いやりの心」

あいてのことを考えることから尊重が始まる

『幸中 しあわせの合言葉』（3つの「あ」）校訓の実現

「感謝の心」「思いやりの心」「我慢の心」

○『ありがとう』を言う 『あいてのため』の行動 『あきらめない』活動をする

『幸中の戦い方（取り組み方）』3つの「F」

○Fight「全身全霊で戦う」FairPlay「正々堂々と公正に戦う」Friendship「仲間相手を敬い戦う」

『幸中 教職員の育て方』3つの「み」人を育てる基本

○「未完成を愛おしむ」「見つける」「認める」支援

未来を生きる子どもたちに必要な力

(1)「ダイバーシティ＆インクルージョン」と「SDGs」

○「ダイバーシティ（多様性）」の良さを学ぶ

○「インクルージョン（包括・認め合い）」の良さを学ぶ

○「持続可能な開発目標SDGs」の社会に向けて「創造」し「貢献」する

(2) 教科の知識ではない、人生100年を生きる力を身に付ける学習

○社会で必要とされる学び方の習得を支援する

○個性、特性を伸ばす機会を支援する

○人としての魂を育む支援をする

(3) 具体的な行動力

○言葉や技能を使いこなす→教科学習

○信頼できる知識や情報を収集し、有効に活用する→ICT活用

○感情をコントロールする→心の教育

○将来を見通して計画的に行動する→自分づくり教育、部活動

○ルールを踏まえて、建設的に主張する→生徒会活動

○他者の立場で物事を考える→生徒会活動、特別活動、特別活動

○目標を達成するために他者と協働する→生徒会活動、特別活動

○意見の対立や理解の相違を解決する→教科、特別活動

令和4年度 仙台市立幸町中学校が目指す教育「学校経営」

地域・生徒の実態

J R 仙台駅北東部2km宮城野区の西端に位置し都市化の波で集合住宅や大型商業施設が林立する環境である。40の町内会宮城野区青葉区の両地区が融合、調和がよくとれている。保護者及び地域の理解に優れ、温厚な支援体制がしっかりしている。生徒は素朴で素直な生徒が多く、一生懸命に取り組む。反面、自分から物事に取り組む姿勢があればより向上が期待でき、「自分」を広めたり深めたりする経験が求められる。

学校経営の基本

1 「仙台市教育基本構想2021」における、一人一人が「持続可能な未来を切り拓いていくための力を備えること」「多様な主体と協働しながらともに支え合い社会の担い手となるよう支援すること」を使命とし、困難に向き合ったときにも強い意志や知恵で乗り越える「たくましさ」と、柔軟に対応する「しなやかさ」を持ち、相互に支え合いながら自立していく力を育むことの基本理念に則る。

2 持続可能な社会づくりに向けて SDGs と教育

3 社の都の学校教育の具現化を目指す。
・未来の作り手となるための力の育成
・豊かな心の育成
・健全な体の育成
・確かな学力の育成
・ICTを活用した教育の推進
・危機対応力の育成
〔多様性に応じた教育機会の確保〕
〔一人一人に向き合える環境づくり〕
〔魅力ある教職の実現〕

○地域とともに歩む学校づくり（学びの連携、CS推進）
○持続可能な開発目標（SDGs）

関連法令等

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学校教育法施行令
学校教育法施行規則
学習指導要領
地方公務員法
教育公務員特例法
地方教育行政法
教職員定数標準法
教育職員免許法
学校保健安全法
学校図書館法
学校給食法
健康センター教科用図書関係法
地方自治法
労働関係法
仙台市教育基本構想2021

目指す生徒像（校訓）

3つの心 3つの「あ」

感謝の心
ありがとう

思いやりの心
あいてのために

我慢の心
あきらめない
あいさつから

学校教育目標

自ら考え、共に学び、
創造性豊かで、自他を
尊重する
健全な生徒の育成

目指す学校像

1 **笑顔で安心**
(居場所ある)な学校
2 **健康で平和**な学校
3 **認め尊重し**あえる学校
4 **社会世界に貢献**する学校
誇りある学校
幸せ日本一

令和4年度 学校経営の方針

「創造」と「貢献」をテーマに『ハイブリッド』で取り組む → 生徒会スローガン『百花斉放』とともに

1 創りだす学校（学校を、地域を、そして自分を創る 創れる自分）→0から1を生む力
2 貢献する学校（仲間、家庭、地域のため、そして自分のために）→9から10で提供する力

『ハイブリッド（両者を融合共立）』デジタルとアナログ、有事と平時、自分と他者、多様性と包摂性、今と未来、ここと世界

令和4年度 重点努力目標

9年間で育てる 協働型学校評価 「互いに認め合い、他者と協働して未来を切り拓く生徒の育成」

1 ダイバーシティ＆インクルージョン支援教育 「最大多様性＝最大幸福」「自分ログ」「メディアタイムコントロール」「対話」
2 SDGs教育 「SDGs学習」「防災学習」「美化登校」「インターナショナルデイ」「朝読書」「安全給食・清掃」
3 アクティブ教育 「生徒会活動」「あいさつ運動」「幸中園」「応援活動」「学年行事」「異学年活動」「壮行試合」
4 ICT&人間力で気づく授業 「ICT最大活用」「自主学習タイム」「知識情報活用授業」「心情を伝え合う道徳」
○ 新型コロナウイルス教育 「3つの感染防止（ウイルス、不安、差別）」「学校HPブログ」「学びを止めない対策」

目指す教職員像

①学び続け、共に高めあう教師（教育信念「未来を見据えた教育」、校内研究『グループ研修』）
②使命感と向上心、情熱を持ち、生徒に寄り添う教師（生徒の自尊感情の育成、生徒と共に居てサポート、巻き込む）
③生徒・保護者・地域に信頼される教師（保護者との協働・情報共有、地域が育て・地域を育てる）



幸町中学校を 日本一幸せな学校にする戦略！

戦略 「創造」と「貢献」

～常識にとらわれない実践～

A I 共存, I o T, 新型コロナ, 気象変動, 少子化, 働き方改革の時代だからすべきことは、人間が必要とされる力は、0から1を生む力「創造」、9から10で提供する力「貢献」
これからの時代に必要な力はこの二つと考え、すべての教育活動でその力を育成を実現！
このテーマに合うものはすべて実行する。（子どもの活動、保護者の活動、地域の活動）

(1)「『教育信念』を持つ！」

～人が生きた証「自分で考える、創造する」～

① 私たち教職員が、日本や世界、地球の未来を考え、どのような教育を進めるか考えを持つ。
「価値は現場に答えがある」
② 「学校教育目標と校訓」を再確認し教育活動を推進する。
「自ら考え、共に学び、創造性豊かで、自他を尊重する！」
校訓：「感謝の心、思いやりの心、我慢の心」の実行！

(2)「人の思いに寄り添う！」

～命の尊重「共に学ぶ、自他の尊重」～

① 「本校の歴史」と「地域（PTAや地域組織人材）」を尊重する
これまでの思いや願い、実践の財産を尊重する。（学校、地域、学校の流れ）
② 今の生徒（を含め保護者地域）の思いや願いに寄り添い、今必要な支援（応援）を行う子どもたちが（保護者が地域が）、今、何に興味を持っているのか、何で悩んでいるのか、困っているのか、そこを「聴く」（個性ある教職員スタッフで！）

(3)「人（生徒）のために、できることをすべて行う！」～教育活動の原点「貢献」～

① 今いるスタッフで生徒を全力で応援し続ける！
② やれるだけ教育活動を行う（新しいものをどんどん実践する）
すべてのベースは、「心の安定」（心のエネルギーの蓄積、社会的存在の安定、未来志向）

(4)「新型コロナウイルスによる教育」

～今の人類の戦い「教育の可能性」～

「新型コロナウイルスとの戦い！」の基本姿勢「3つの感染」を防ぎたいと考えます（資料：日本赤十字社）

(1) 病気のそのものの感染（全力で感染しない対策）
(2) 不安と恐怖の感染（仲間とのコミュニケーション前向きな言葉態度で克服）
(3) 嫌悪・偏見・差別の感染（感染してしまって苦しんでいる人を「責めない」態度）
この3つの感染を防ぐことができたなら、私たちはこの戦いに負けなかったと考えたいと思います。各自がウイルス感染者であることを前提とした行動を指導（感染症対策力）

「コロナとの戦い」=社会を維持すること「中学生ができることを実行すること」

(1) 家族を支えること「料理、洗濯、掃除」自分一人でも生きる力を身につけること
(2) 自分の個性を伸ばすこと（遊びやゲームに飽きてみたときに感じることを大事に）
① 教科の勉強以外の学習をすること
② 普段できない基礎学習をすること
③ 読書をする